

高校とは違う！大学での生活

1 生活のスタイル

どんなところが変わるのかな？



親元を離れた人にとって一人暮らしはとても自由で、生活のリズムが崩れがちです。夜寝る時間や朝起きる時間を決めておくことも大切です。自分でゴミ出しや洗濯、掃除はもちろんのこと、ライフラインの料金引き落としの日なども把握し、計画的にお金を使うことを心がけましょう。



2 履修の仕方

自分で時間割を組み立て、自分にとって必要な授業を取りこぼしていないか、しっかりとチェックすることが重要です。自由設計科目や集中講義の登録・変更も、いつまでにやる必要があるのか、しっかりと把握しておきましょう。



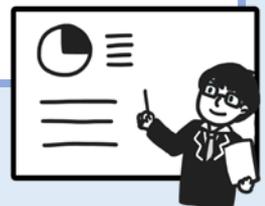
3 情報の収集

高校時代のように毎日ホームルームがあるわけではありません。また、友だちとも受ける授業がバラバラなので、自分で情報を収集しなければなりません。大量の情報の中から、休講や授業場所の変更など自分に必要な情報を見つけることが必要です。掲示板、ELMSやメールのチェックを忘れないでやりましょう。



4 授業の形態

高校よりも広い教室が増え、授業の時間も90分と長くなります。受験勉強のように暗記するばかりではなく、考えたことをディスカッションしたり、レポートにまとめたり…など取り組む内容のバリエーションが広がります。



5 学生相談総合センターって？

学生生活を送る上で、修学上の問題や、家族、友人関係等様々な問題を抱えて悩むこともあると思います。学生相談総合センターでは、カウンセラー（臨床心理士）や相談員、コーディネーターが皆さんの相談に応じ、課題解決をするための支援を行います。

